

燕にも
こんな会社があったのか!?



「働きやすさ」に
取り組む企業を
紹介!

Find
ood

workplace,
and good life!



経営のヒントがココに!

社員も喜ぶ、会社も喜ぶ、
仕事と生活、両立のススメ。

燕市「女性が輝くつばめプロジェクト推進事業」の一環で、
2017年に女性65人を対象としたアンケートから抜粋したものです。

50代

風通しがよく、縦と横の
バランスがとれた職場。
基礎・底辺がしっかりとし
ている。逆ピラミッドから
の脱出

40代

協調性や上司と部下の関
係構築ができています。言
いたい事(文句ではない)
が何でも言い合える職場

30代

業務改善がなされ、社
員全員がやりがいをもっ
て働けること。全員で協
力し合う職場の雰囲気
がある

30代

部署や年齢の垣根なく、
活発に自己の意見を言い
合い、問題をチームで解
決できる職場

20代

「自分しか知らない仕事」
ではなく、皆が把握し、
分担できるようになると
いい

20代

抱えている問題があれば上
司に伝えられる。各職場ご
との細かい内容の問題を会
社が解決してくれる

20代

協力、調和、向
上心のある職場

50代

福利厚生が充実
し、活用できる。上
司の理解がある

40代

与えられた仕事をこなす
と同時に、自発的行動し
たことによる成果を評価
してもらえるような環境

30代

見本となる先輩、
上司がいる

30代

社員全員が残業をせず、
定時で仕事を完了。掃除
の時間も就業時間内であ
ると良い

50代

産休、育児休暇、介護休
暇等、男女関係なく誰も
が当たり前を取得でき、
周りの人間も「あたりま
え」の職場環境が理想

40代

家庭の事情もわ
かってもらいつ
つ働ける

20代

子育てや介護など、仕事と
両立するのが難しい時期が
ある。いかなる時も働きや
すい環境や会社としての取
り組みがあるといい

50代

コミュニケーションの
取れた信頼関係の
ある、明るい職場

50代

業務の範囲、責任と権限
が明確であり、自分の裁
量で進められる。会社の
行事等に縛られすぎない

40代

上司や同僚と何事におい
ても相談、協力し合える
風通しの良い人間関係が
築ける職場

30代

業務内容はもちろん、家
庭状況に変化や困ったこ
とがあった時、相談でき、
互いにそれをサポートで
きる環境

40代

現場の意見や要望
がスムーズに上層
部に届き、そのこと
が反映される

40代

しっかりと評価して
もらえるような環境

「日本一輝いているまち」を目指して

世界に誇る金属加工産業を軸に飛躍を遂げてきた一方で、
出生数の急激な減少などにより人材の確保に不安を抱える燕市。
「良い人材を確保し、いかに長く働いてもらうか」が今後の企業存続・繁栄の最大テーマとなるでしょう。
今回は5つの企業にスポットをあて、従業員が働きやすい環境をどのように整え、
ワークライフバランスとどのように向き合っているかを5つの会社の社長にインタビュー。
経営のヒントがここに!!

燕市で働く20~50代の女性に聞く!

あなたの理想の職場は?

企業のトップが自社の「働き方」について語る!

残業がないのは社員が
しっかりと働いている証拠です



#1 有限会社 栄工業

社長の声
President's voice

辞職理由が介護や子育て
ならば辞める必要はない

先代の社長時から女性を中心に採用を行ってきたという栄工業。「男性のイメージが強い業種ではありますが、以前弊社で働いていた方を含めてみても女性の方が仕事丁寧ですし、細かな仕事もキレイに仕上げられる印象です。職場をキレイに保ってくれますしね」。一方で女性には出産、子育て、介護をはじめあらゆるステージで働き方を見直さ



有限会社栄工業、代表取締役 山村則子さん。
野生獣の駆除を目的とした檻の製造メーカーとして国、官公庁などに納品を行なう。

ざるを得ない時があり、方針次第では会社を辞めなければいけないこともある。「弊社の女性室長は介護と仕事を両立するため、現在テレワークを行っています。辞職する理由が介護や子育てであれば、辞める必要はないと伝えています」。

**多能工化で健全な
就労時間と休暇を確保**

完全週休2日制のほか、夏季・冬季休暇や有給完全消化にも積極的に取り組むをみせる。「残業がないのは社員一人一人がしっかりと働いてくれている証拠。また、多能工で動いているので、どんな仕事にも対応できるスキルを持っているスタッフが多い点も弊社の強みです」。山村社長が空高く掲げる大きな傘に守られながら、安心して、前向きに仕事に挑む姿勢が印象的な栄工業。女性ならではの強みを活かしつつ、不足の部分は全員で補いながらもものづくりを行なう素敵な会社だ。

最高70歳までの継続雇用で
技術の継承に力を入れる

包丁専門の製造メーカー、藤次郎は高校生を中心に毎年新規採用を積極的に行っているほか、「正規雇用社員数の割合の高さも特徴的。「現場で長く働いて、技術を磨いてもらうには時間や期間が区切られている非正規雇用より、正規雇用の方が当社は適していると考えます」。最高70歳まで継続雇用を行い、技術の継承に力を入れているほか、非正規雇用から正社員に昇格する機会なども設けることで、企業にとって最も重要な「人財」を確保している。

すべてはトップブランドで
あり続けるために

1年に1度、藤田社長は社員全員と面談を行う。「本来ならば中間管理職のスタッフが行うべきなのかもしれませんが、社員が社長に言いたい事を直接言える機会が1年に

社員が私に直接意見が言える
機会は会社にとって重要な場です



#2 藤次郎 株式会社

社長の声
President's voice



藤次郎株式会社、代表取締役社長 藤田進さん。
創業以来、一貫して包丁の切れ味にこだわり、日本の調理文化を国内外に広め続ける。

1度あるということを認識しながら働くことができることに価値があると思っています。また、社員のモチベーション維持のために行っている取り組みがある。「5S表彰や社員から候補を挙げてもらう優秀社員表彰のほか、挨拶表彰も行っています。挨拶表彰は新入社員が受賞することもあるんですよ!」と笑顔で語ってくれた。これらの取り組みは伝統と革新を融合させながらトップブランドであり続けるためのヒントなのかもしれない。

重量物を簡単に反転できる
設備の導入に着手

性別を問わず採用を行いつつも、圧倒的に女性の応募が少ない状況が続いているという同社。今後は積極的に女性の採用を視野に入れる。それに伴って、現在の女性従業員のために行った取り組みもある。「会社の創立80周年記念事業の一環として、女性社員専用の休憩室、パウダールームを設けました。また今後は、重量物を簡単に反転でき

#3
北越工業
株式会社

社長の声
President's voice



80年以上の歴史を持つコンプレッサメーカー北越工業株式会社、代表取締役社長の寺尾正義さんと次長の戸塚健一さん

女性専用の休憩室や
パウダールームを設けました



る設備の導入を検討しています。女性だけでなく、年配の男性にも配慮し、長く働いてもらえるように考えています。」

**労働組合からの要請で
社員旅行が再スタート**

社員のステップアップとモチベーションアップのために取り組んでいることは？「昇進して管理者になった時点で研修を行っています。入社3年後を目処にフォローアップ研修も実施しています。また、職能資格等級制度における昇格試験は毎年実施しており、自己啓発の通信教育も点数に応じて受験料の補助を会社が負担しています」。親睦を深めるために社員旅行が再スタート。「労働組合から要請で、2年に1度実施しています。普段一緒に仕事をすることがない海外の駐在員などを含めて過ごす時間は、情報交換の場としても有効だと感じています」。

「つばめ輝く女性応援賞」を受賞したことも大きかった

従業員の男女比率がおおよそ5:5とバランスが良いハセテック。「男性をターゲットに求人票を出しても女性の応募が多い状況です。燕市による『つばめ輝く女性応援賞』を受賞したことや、女性経営者ということも影響していると思います」。また、多能工育成に着手するため、県外のある企業の事例を参考に取組んでいることがある。「約2年前からジョブローテーションとしてソフト制を導入したところ、社員同士のコミュニケーションが深まり、いい雰囲気の仕事ができていますかと思えます」。

変化を恐れずにスピード
重視で変革することの大切さ

工場における製造方法や部門間のコミュニケーションを改革するために、原田社長を筆頭に、若手社員、コンサルタント会社とプロジェクトチームを結成。社員7人が手を挙



#4
株式会社
ハセテック

社長の声
President's voice

社員アンケートはオススメです！
答えは社員が知っています

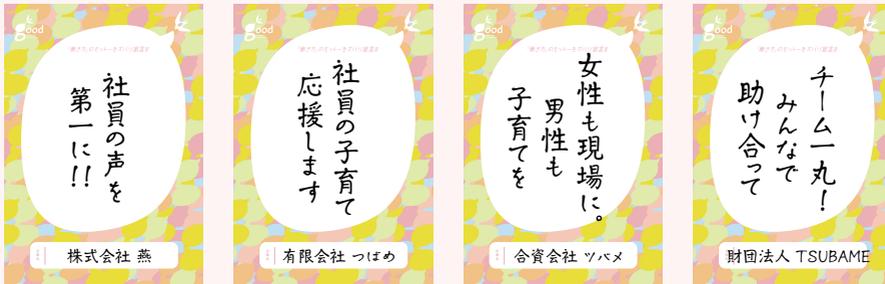
「社員アンケートはオススメです！答えは社員が知っています」。うち一人が入社1ヶ月の従業員だった。「課題はシンプルなことが多かったと思います。ベテラン社員にとっては当たり前のことが、若手社員にとっては改善したいという案件もありました。変化を恐れずにスピード感を持って変革することの大切さを感じています」。また、通常の面談ではわからない社員の本音を知るために、社員アンケートも実施した。「結果を見るのは怖かったですね(笑)。でも、今後会社が向かう方向性の答えは社員が知っているのではないかと思うようなアンケート結果でした」。

金型・治工具の製作から金属製品加工、品質管理に至るまで一貫して行う、株式会社ハセテック。代表取締役は原田雪枝さん。



「働き方」に対するモットーを 書き込もう!!!

— 宣言の一例 —



社内での掲示はもちろん、就職説明会でも使える!!

このポスターは燕市ホームページからもダウンロードできます。

📷 写真を撮って送ってください!

掲示したポスターの写真を下記メールアドレス(燕市地域振興課)に送ってください。

インスタグラムの専用アカウントや燕市ホームページ上に掲載し、PRします。

写真の形式はjpeg、またはpngをお願いします。

宣言に関する説明(200字程度まで)も送っていただければあわせて掲載いたします。

送信先メールアドレス

chiiki@city.tsubame.lg.jp(燕市地域振興課代表メール)

Instagram専用アカウント

tsubame_de_hataraku



経営者や社員と一緒に

ポスターだけでもOK



社員の家族も把握できる
身の丈経営を行なっています



#5 フジイ コーポレーション 株式会社

社長の声
President's voice



除雪機の世界的メーカー、フジイコーポレーション株式会社。「70歳まで働けるすこい会社」としてメディアでも紹介。代表取締役は藤井大介さん。

会社が掲げる夢や目標に
同調できる集団を築く

経済産業省選定の「平成25年度ダイバーシティ経営企業100選」に選ばれた同社。「ダイバーシティ経営は社員の多様な考え方の方向性を合わせて、時代の変化に適應できる経営手法です。企業にはさまざまな社員がいます。個性の異なる社員の特徴を活かし、時代に応じてスポットを照らし、会社が掲げる夢や目標に対して同調できる集団

をいかに作り上げるかが大切になってきます」と藤井社長は語る。

男性社員が女性社員に
料理を振る舞う特別な日

社員との面談など、直接意見交換をする場はあるのか?「特に設けていませんが、社員の家族まで把握できる身の丈経営を行なっています。また、コミュニケーションをとる場として、女性感謝デーと称し、お盆休み前に男性社員が女性社員に料理を振る舞うという日を設けています。また、ヘルスマネージメントとワーク・ライフ・バランスの融合で、喫煙者以外の社員を誕生日休暇として、3日間連続で有給休暇を利用してもらっています。ほかにも、働き方改革の一環として、3年前に在宅勤務を実施、また現在、管理職の一週間休暇をはじめとした新たな取り組みに挑戦することで、目標に向かって進むワンチームを築き上げる。

出生数の急激な減少の対応策として、子育て支援を拡充・再編し、「働きながら子育てしやすいものづくりのまち」となるようにさまざまな事業を行っています。

**女性が輝くつばめプロジェクト
推進事業**



【つばめ輝く女性表彰】

すべての女性が輝き、活躍しやすい環境づくりを進めるため、身近なモデルとなる女性個人や女性の活躍を応援する事業所等を表彰しています。



【つばめ・やひこ女性活躍推進フォーラム】

女性がより社会で活躍するためには、男女ともに働きやすい職場環境を整えることが重要。事業所等への意識啓発を目的として、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革をテーマに毎年開催しています。



【活動☆つばめこまち応援隊】

燕市が実施している「女性が輝くつばめプロジェクト推進事業」の一環として、2016年に結成された女性の活躍創造プロジェクトチーム。市内事業所の女性従業員と市役所の女性職員で構成しています。女性の活躍推進のために、ワーク・ライフ・バランスを実現できる働きやすい環境について検討を進め、2019年にはこの取り組みを「3つの提言」としてまとめて市に提出。本冊子もこのプロジェクトチームの発案によるものです。



**つばめ子育て応援企業
サポート事業**



【つばめ子育て応援企業認定制度】

仕事と家庭生活が両立できる職場環境づくりに積極的に取り組む市内企業を、市が『つばめ子育て応援企業』として認定します。認定企業には男性が育児休業を取得する際の奨励金の交付や、燕市ホームページ等で取り組みのPRを行い、企業のイメージアップを応援します。認定は「2つ星」と「3つ星」の2種類。令和2年6月30日現在で6社が認定されています。

【男性の育児休業取得促進奨励金】

『つばめ子育て応援企業』に勤務する男性の育児休業取得者とその事業主に対し、奨励金を交付します。

つばめ子育て応援2つ星企業

事業主:7万円 / 取得者:5万円

つばめ子育て応援3つ星企業

事業主:15万円 / 取得者:5万円

※奨励金の交付には条件があります。

Q つばめ子育て応援企業 で検索!





仕事も
プライベートも
前向きに
自分らしく!!

Find

ood

workplace,
and good life!



〒959-0295 新潟県燕市吉田西太田1934番地
燕市地域振興課 地域振興係

TEL 0256-77-8361

メール chiiki@city.tsubame.lg.jp